

トイレ遺構（推定）



↑トイレ遺構 2（推定）

トイレ遺構 2 は、直径 80cm、深さ 120cm の円筒状の土坑が 4 基ずつ 2 列、計 8 基並んでいます。一つ一つの土坑には木枠などが設置され大使用のトイレと推測されますが、遺物の出土がほとんどなくまた、営内配置図においてはこの地点に建物の記載はないため、その性格を確定するには今後の検討が必要です。

←トイレ遺構 1（破壊跡）（推定）

営内配置図によると「厠」と記されている地点です。洗面所と同様、5m×3m の範囲にコンクリや石、砂利が多数認められ、壊されている状況がわかります。そのなかに、長さ 2.4m、幅 1.2m、深さ 120cm の長方形の掘り込みがあります。この掘り込みが小便などの汚水の集積升と推測されますが、今後の検討が必要です。